

平成25年度

施政方針

福岡県古賀市

目 次

1. はじめに	…	1
2. 平成25年度予算編成について	…	2
3. 平成25年度に行う主な事業について	…	4
(1) 地域経済活性化プロジェクト	…	4
(2) 安全・安心プロジェクト	…	4
(3) 子どもすこやかプロジェクト	…	5
(4) 健康づくりプロジェクト	…	6
(5) 活躍支援プロジェクト	…	6
(6) その他の事業	…	7
4. おわりに	…	8

1. はじめに

昨年は、ロンドンオリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍や山中伸弥京都大学教授のノーベル生理学・医学賞の受賞、自立式電波塔として世界一の高さを誇る東京スカイツリーの開業など、日本が世界に誇れる出来事の多い一年でございました。その一方、九州北部では豪雨による災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。

古賀市では、「つながり にぎわう 快適安心都市 こが ～豊かな自然と元気な笑顔に出会うまち～」を将来像に掲げた「第4次古賀市総合振興計画」がスタートいたしました。

その実現に向け、古賀市の魅力をPRする古賀モノづくり博「食の祭典」や「K-1（古賀の一品）グランプリ」「朝どり！こがスイーツコーン祭」「農家直売！軽トラ市」「つながり にぎわう 大吉プロジェクト」が新たに開催されるなど、市内外から多くの人を訪れ、まちが大いににぎわいました。

また、新たな工業団地として、約19ヘクタールの広さを持つ「古賀市篠林地域物流団地（仮称）」の建設が決定し、多くの雇用の創出が期待されております。

さらに、水害を想定した防災訓練の実施や全国の他自治体との災害支援協定の締結、防災倉庫・防犯カメラの設置、エコバイク・電気自動車の導入、子どもの体力づくり、18歳未満の入院医療費の公費負担など、安心して快適に暮らせるまちづくりにも取り組んでまいりました。

国では、進行する少子高齢化などに対応するため、社会保障制度改革推進法や消費税増税法などの社会保障と税の一体改革に関連する法律が制定されました。

また、長引く円高やデフレからの脱却も大きな課題となっており、新しく発足した安倍政権は、「強い日本」を掲げ、「金融緩和」「財政出動」「成長戦略」の3本の矢を柱に、景気回復を図ることを表明しております。

古賀市におきましては、そのような国の動向を注視しながら、柔軟に対応することが必要になってまいります。

以上のことを踏まえ、平成25年度の施政方針を策定いたしました。

2. 平成25年度予算編成について

平成25年度は、第三次行財政改革の精神を引き継ぎ、財政規律を緩めることなく経常経費の削減に努めるとともに、限られた財源を有効かつ効果的に活用するために、優先度・緊急度に応じた選択と集中による計画的で効率的な予算編成を行いました。そのうえで、「つながり にぎわう 快適安心都市 こが」の実現をめざし、第4次古賀市総合振興計画前期基本計画に掲げた「重点プロジェクト」の目的をより効果的に達成するための施策（「重点プロジェクト推進施策」）に優先的に予算配分を行いました。

歳入面では、市の一般財源の根幹をなす市税につきましては、固定資産税・市たばこ税の増により、前年度比1.4%（9,200万円）増の65億8,000万円、依存財源である地方交付税につきましては、地方公務員の給与削減を前提とした減額配分となることから、前年度比2.0%（6,600万円）減の32億6,000万円を見込んでおります。

歳出面では、高齢化の進行などによる社会保障費の増加が見込まれる中、「重点プロジェクト」に係る経費として、総額49億4,400万円の予算を計上いたしました。

この結果、平成25年度予算編成（一般会計）における歳入総額は168億1,500万円、歳出総額は173億9,000万円となり、歳入不足額は5億7,500万円となる見込みです。この不足を補うため、特定目的基金の充当、地方財政法の規定に基づく財政調整基金の取崩しにより調整を行いました。

これにより平成25年度の予算規模は、

一般会計	173億9,000万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	600万円
国民健康保険特別会計	61億8,400万円
後期高齢者医療特別会計	6億400万円
介護保険特別会計	31億4,800万円
公共下水道事業特別会計	17億9,700万円
農業集落排水事業特別会計	1億2,300万円
水道事業会計	14億8,200万円
総計	307億3,400万円

となり、平成24年度と比較をいたしますと、一般会計では、0.6%（9,900万円）増、各特別会計を含めた予算総額では、2.7%（7億9,600万円）増となっております。

なお、国の大型補正に伴う平成25年度に計上を予定しておりました予算の平成24年度補正予算への前倒し分を含めると、一般会計では、実質的には2.7%（4億7,400万円）増となり、施策実現に向けた積極的な予算編成を行いました。

3. 平成25年度に行う主な事業について

平成25年度に行う主な事業について、「重点プロジェクト」別に説明いたします。

(1) 地域経済活性化プロジェクト

地域経済活性化プロジェクトは、地域産業の活性化や企業誘致に取り組み、地域経済がにぎわい、活気にあふれるまちづくりを推進するものです。

- ① 農業の担い手や農地などを含めた今後の地域農業のあり方を示す「人・農地プラン」の策定に引き続き取り組みます。
- ② 農業の効率的な経営と生産性の向上を図るため、小野南部地区のほ場整備と地域の中心となる農業経営体への農地集積に協力する農業者などへの補助を継続します。
- ③ 農業の経営安定や重点品目の産地強化を図るため、引き続き省エネルギー化につながる設備の導入などを支援します。
- ④ 「K-1（古賀の一品）グランプリ」の開催など、農・商・工が連携した新たな特産品づくりを支援し、その定着に向けて取り組みます。
- ⑤ 市内企業の持つ卓越した技術力や商品をPRするため、「食の祭典」「まつり古賀」を開催するとともに、市内小学生などを対象とした工場見学や体験教室を行います。
- ⑥ 企業誘致推進本部を中心に、適切な土地利用のもと、関係機関と連携を取りながら、引き続き企業誘致を促進します。
- ⑦ 薬王寺温泉など、「さと」「やま」の観光PRのため、誘導表示の設置や観光マップの作成などに取り組みます。

(2) 安全・安心プロジェクト

安全・安心プロジェクトは、防災体制の充実や新エネルギーの導入促進、人権のまちづくりに取り組み、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するものです。

- ① 環境負荷の低減に関心を持つきっかけづくりのため、グリーンカーテンの普及・指導などの支援を行います。
- ② 地球温暖化防止をよりいっそう推進するため、引き続き太陽光発電システム・エネファームの設置費用を補助します。
- ③ 津波発生時に円滑な避難が行えるよう、市内500箇所に海拔表示板を設置します。
- ④ 地域の防災力向上のため、自主防災組織の防災備品購入などに対して補助を行います。
- ⑤ 防風保安林の機能や近隣住民の生活環境の向上のため、防風保安林の一部を改良します。
- ⑥ 市民が共に生き、共に支え合うまちづくりをめざし、「いのち輝くまち☆こが2013」「同和問題を考える市民のつどい」の充実に取り組みます。

(3) 子どもすこやかプロジェクト

子どもすこやかプロジェクトは、子育て支援や学校教育を充実するとともに、青少年を育む環境づくりに取り組み、子どもがすこやかに育つまちづくりを推進するものです。

- ① 児童生徒にきめ細かな指導ができるよう、「小1プロブレム対策学級補助員」「中1ギャップ対策講師」「小学校中学年学力向上支援対応講師」「学習支援アシスタント」などの配置を継続します。
- ② 児童生徒が楽しく充実した学校生活を送れるよう、引き続き「スクールソーシャルワーカー」「スクールカウンセラー」「心の教室相談員」を配置します。
- ③ キャリア教育をより充実するため、中学校2年生が職業体験学習を行う「ドリームステージ事業」と小学校5年生が行う「接遇マナー研修」を引き続き行います。
- ④ 地域全体で子どもを育む環境づくりのため、地域住民や関係団体とともに「地域つながりあいさつ運動」を促進します。
- ⑤ 安心して出産を迎えられるよう、妊婦健診に係る費用の助成を継続します。
- ⑥ 子育て世帯の経済的負担軽減のため、18歳までの子どもを対象に入院に係る医療費の公費負担を継続します。

- ⑦ 父親の育児力向上のため、子育て講座や子どもといっしょに料理やレクリエーションなどを行う「イクメン道場」を開設します。
- ⑧ 増加する保育ニーズに対応するため、鹿部保育所を増築します。

(4) 健康づくりプロジェクト

健康づくりプロジェクトは、健康意識の向上や健康づくり環境の充実、介護予防に取り組み、健康で元気に暮らせるまちづくりを推進するものです。

- ① 児童の「食」への関心を高めるため、児童から募集した食育・給食に関する絵などで給食配送車をラッピングします。
- ② 健康づくりの推進と古賀市をPRするため、農・商・工と連携しながら、イベント性が高い市民ウォーキングを開催します。
- ③ 福岡女学院看護大学と連携しながら、児童生徒期からの生活習慣病予防の学習に取り組みます。
- ④ 「生きる支援」ができる自殺予防の推進体制を構築するため、悩みを抱える人に気付き、相談に乗る「ゲートキーパー」の養成に取り組みます。
- ⑤ 生活習慣病の予防や重症化を防止するため、かかりつけ医との連携を強化し、慢性腎臓病対策に取り組みます。
- ⑥ 介護予防推進のため、音楽療法を活用した「音楽教室」などに引き続き取り組みます。

(5) 活躍支援プロジェクト

活躍支援プロジェクトは、社会教育環境の充実や高齢者・障がい者の社会参加の支援に取り組み、みんながそれぞれの場で活躍できるまちづくりを推進するものです。

- ① 古賀市の生涯学習振興の柱となる「第2次生涯学習基本計画（仮称）」を策定します。
- ② 生涯学習推進拠点ゾーンとして、研修棟を含めたリーパスプラザ周辺の整備内容を検討し、実施設計を行います。
- ③ 古賀市の文化芸術振興の柱となる「文化芸術振興計画（仮称）」を策定します。

- ④ 市民が文化芸術を鑑賞・参加・創造できるよう、「プロムナードコンサート」「童謡まつり」「芸術祭」「文化祭」などを引き続き開催します。
- ⑤ 子どものスポーツ活動を推進し、体力を向上させるため、スポーツ推進委員を増員し、基礎体力づくりや体力測定などに取り組みます。
- ⑥ 高齢者の社会参加を促進するため、介護保険施設などでボランティア活動を行った場合に換金可能なポイントを付与する「介護支援ボランティア制度」の普及に取り組みます。
- ⑦ 障がい者の社会参加を促進するため、引き続き「障がい者職場体験実習」の拡充に取り組みます。

(6) その他の事業

重点プロジェクトに位置付けられていない主な事業を説明いたします。

- ① 森林の公益的機能の保全や林業の再生をめざし、引き続き荒廃森林再生事業に取り組むとともに、「森林経営計画」の策定を支援します。
- ② 循環型社会の形成に向け、引き続き古賀市に適した廃棄物処理のあり方を調査研究します。
- ③ 児童の増加に対応するため、花鶴小学校の教室整備工事に取り組むとともに、快適に学べる環境を整えるため、順次、小学校の普通教室に扇風機を設置します。
- ④ 西鉄宮地岳線跡地の土地利用方針（案）を検討し、整備に向けて取り組みます。
- ⑤ 防犯体制の充実のため、J R 千鳥駅に防犯カメラを設置するとともに、利便性の向上のため、J R 千鳥駅東口駅前周辺の整備を検討します。
- ⑥ まちの魅力や自慢できる景観などを再発見するため、絵画や写真などのコンテストを開催します。
- ⑦ 障がい者の権利擁護のため、「障害者虐待防止センター」の機能充実に取り組みます。
- ⑧ 古賀市を広くPRするため、「市勢紹介リーフレット」を作成します。
- ⑨ 税の収納率向上のため、新たな「滞納整理システム」を導入するとともに、専門家（ファイナンシャルプランナー）による生活再建型の納税相談を行います。

4. おわりに

ここまで、平成25年度施政方針について述べてまいりました。

市長就任から2年が経ち、3年目を迎えましたが、この間、気づくことができなかつた古賀市が持つ宝のような魅力を再発見させられる日々でございました。

平成25年度は、市民や職員とともに知恵やアイデアを出し合い、このまちが持つ潜在力をさらに引き出しながら、更なる飛躍を成し遂げ、近隣市町に負けない、魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

市民・地域・企業などと一体になり、市政発展のため、誠心誠意尽力いたします。

引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。